

# 竹川病院

**症 例 概 要** 地域の皆さんに当院の診療科や入院生活について、そして様々な取り組みを伝えるため、昨年より病院見学会を開催しています。この度、春の病院見学会を開催するにあたり、病院紹介や健康チェック、リハビリ室の見学に加え、倫理委員会で取り組んでいる「人生会議」について地域の皆さんにも知っていただいていたのではどうか、という運びとなり、人生会議について交流するブースをつくり、地域の方・他病院の方と共に考え共有することができました。

## 内 容

当院では昨年度から当院の事を地域の皆さんにもっと知っていただくことを目的に定期的に病院見学会を実施しています。内容は、グループ病院であり、近隣に介護事業所や有料老人ホームがあること、病院の診療時間や診療内容、帝京大学や日本大学から来た医師が毎日診療していること、また病院の特別食やデザートを紹介などをおこなっていて、参加者からは「外来があるなんて知りませんでした」「全国規模の病院なんですね、すごいですね」などの声が聞かれます。その後、毎回職員がリハビリテーションや医療・介護における簡単な講演をおこない、最後にリハビリ室の見学をしていただきます。

リハビリ室では軽食の提供や血管年齢チェック、握力測定、何でも医療相談などを行っています。今回、新しい取り組みとして、地域の皆さんに「人生会議」について考える機会を持っていただくことと1ブース追加しました。当院では人生会議（ACP）の取組みが進んでおらず、昨年からは倫理委員会でマニュアルを改訂し活動を広げる計画を立ててきました。まず、石巻健育会病院の素晴らしい取り組みなども参考にさせていただき全職員を対象に院内研修会を開催、絆ノートを参考にし、まず今年度は東京都が作成した【わたしの思い出手帳】を利用して患者さんと話し合える機会を作ることを始めました。その後、看護部のメンバーが人生会議に関する情報収集をしていく中で、もしもの時の話し合いを始めるにあたり新たな気づきのきっかけとなる【もしバナゲーム】というツールを活用することができると知り、見学会にて皆さんと使用してみることにしました。事務部の提案で人生会議についてアニメーション動画を流し、輪になって話し合える場を作りました。初対面の方に人生の意義の話をするのは抵抗がありますが動画をみて立ち寄ってくださった方に声をかけ一緒にゲームをしました。看護師とリハビリテーション科の職員と話した男性は笑顔でいろいろと話してくださり、近隣の病院職員の方は「真剣に考えることがなかったが、とてもよかった。持ち帰って自組織でも活用したい」と話されていました。

健育会グループの竹川病院はこんな取り組みができるということを地域に発信していくとても有意義な機会になりました。また、もっとたくさんの地域の皆さんに当院を知っていただき地域に愛される病院になる



よう取り組みを継続していきます。

**【医師】** 倫理委員会で生命倫理の4原則について説明

人生会議について話を進めてくれ、同様に多職種が連携しより良いケアを提供するための協力体制を一緒に推進。職員が相談しやすい倫理委員会となってきた

**【看護】** 見学会の準備と当日の人生会議担当・血圧測定・血管年齢測定

**【リハビリ】** 見学会の準備、当日の講演、リハビリ室の紹介、握力測定

**【事務】** チラシ・ビラ配り、病院紹介、会場準備、後片付け